

7 その他

区	地域コミュニティ協議会	活動名
北	松浜地区コミュニティ協議会	地域活性講座プロジェクト
北	濁川地区コミュニティ協議会	あいさつ運動
中央	栄地区コミュニティ協議会	安全で安心なまちづくり推進事業
江南	亀田東小学校区コミュニティ協議会	ふれあい茶話会
江南	横越コミュニティ協議会	そばねって、いっしょうそばに寄り添って
江南	横越コミュニティ協議会	嫁入り船復活プロジェクト
南	鷲巻地区コミュニティ協議会	桜・灯ろう祭り
南	味方地区コミュニティ協議会	大風文化伝承事業
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	トラック事故防止の交通安全教室
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	地域の安心安全・命を守ろう推進事業
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	親子の居場所事業
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	広報紙「さかい輪」発行
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	連合自治部広報紙「大道」発行事業
西	五十嵐小学校区コミュニティ協議会	私たちの海岸保安林保全活動
西	五十嵐小学校区コミュニティ協議会	テーマ「狭あい道路の解消」行政コンサルとの共同研究参画
西	真砂小学校コミュニティ協議会	スポーツ部会平成26年度事業計画
西	真砂小学校区コミュニティ協議会	平成26年度 交通安全・防犯部会事業計画
西	真砂小学校区コミュニティ協議会	防災活動事業・生活環境部会26年度計画
西	真砂小学校区コミュニティ協議会	まさご体験教室
西	真砂小学校区コミュニティ協議会	① 世代交流の集い「こどもたちと遊び隊」、 ② 真砂元気塾「うきうき元気に生きましょう」
西	真砂小学校区コミュニティ協議会	平成26年度文化部会事業

北区 松浜地区コミュニティ協議会

活動名：地域活性講座プロジェクト

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

本町通り商店街の活性化及び地域交流の拠点づくりのため、関係団体と話し合い地域で何とか取り組みが出来ないか考えました。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

地域の交流施設で空家対策の一環として活用されている「こらぼ家」を会場として、講座等のイベントを開催することで、出来るだけ多くの人から本町商店街に足を運んでもらう。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

7月7日～7月31日	新潟地震の記憶パネル展	入場者約2,500人
11月27日	防災漫談講座	参加者 50人
1月21日, 3月16日	いきいきこらぼ体操	参加者 各17人

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

こらぼ家

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

各講座を通して松浜商店街に足を運んでもらうことで、地域の賑わいを醸し出すことができました。また、高齢者が元気に生活できるための知識を学んだり、子どもたちとふれあったりと、地域の憩いの場としての拠点づくりができてきたものと思います。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

集客の期待できる講座・イベント等の企画やその周知方法等（ポスター・チラシなど）に苦慮いたしました。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

今後も継続していくことで、地域のつながりを深め、町全体で楽しめる場にしていきたいと考えています。





北区 濁川地区コミュニティ協議会

活動名：あいさつ運動

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- ① 地域の人々がお互いに挨拶あるいは言葉を掛け合う姿が少ない。
- ② 児童が成人に挨拶しても返事が少ないか、タイミングが遅れる。
- ③ お互いに言葉を交わさないことは防犯などの面からも好ましくない。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ① 老若男女を問わず、路上などで会ったら挨拶を必ず交わす。
- ② 小、中学校にも呼びかけ、地域全域で実践する。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ① のぼり旗を作成し、地域の要所に掲げて啓発を行った。
- ② チラシやステッカーを貼ったクリア・ファイルを配布した。
- ③ 年に4回程度、街頭などに役員などが立って通行者にPRを行った。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

濁川小学校、同中学校、JA濁川支所、新潟市濁川連絡所

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ① 今は挨拶を交わさない人は少ない。
- ② 高齢者の協力も徐々に増えた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ① いきなり「挨拶」といわれても気易くできなく、緊張感の開放に苦慮した。
- ② 勇気を奮って最初の一声が出れば後は自信になることが多くの人感想である。
- ③ 自信にあふれた大きな声がヒントのようだ。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ① 単なる挨拶ではなく、話す機会や共通な話題の提供としていきたい。
- ② 参加し易い催事、行事の企画、実践を図りたい。



中央区 栄地区コミュニティ協議会

活動名：安全で安心なまちづくり推進事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

ひとり暮らしのお年寄りや高齢者が多く地域の安心で安全な暮らしを守っていくため福祉、教育、防災、防犯、防火及び環境等多面的な観点からこの事業を実施し地域住民の安心、安全を守ることで、友好的な活動を繰り広げ、その活動をPRして安心、安全の対策に理解を促進するとともにひとり暮らし高齢者世帯の見守りをする事により地域の福祉の向上を図る。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

お年寄り、高齢者宅へ定期的に見守り活動をコミ協文教・厚生委員と地域見守りお互いさまくらぶ会員とで実施いたしました。毎月一回集まってお年寄り、高齢者の暮らしぶりを話し合い情報を交換した。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

見回り活動を定期的実施。特に玄関での声掛け及び隣近所に訪問してお年寄り、高齢者の生活に変わったことはないか、異常があったと感じた場合は連絡をいただけるようお願いをしています。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

お互いさまくらぶ セーフティスタッフ

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

お年寄り、高齢者から感謝をされて、地域のお茶の間サロンや防災訓練にも参加をしていただくようになった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

地域の安心、安全を守るために、子供たちの朝の通学において交通事故にあわないように地域のボランティアを募りセーフティスタッフの充実を図った。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

地域のお年寄り、高齢者を見守りの巡視、巡回活動をこれからも続けて安心、安全を見舞っていき、合わせて地域の子供たちの通学時の安心、安全をセーフティスタッフとより一層の見守り活動を務めてまいります。



新調した日和山小セーフティスタッフジャン



健康お茶の間サロン研修会



お茶の間サロン防火座談会



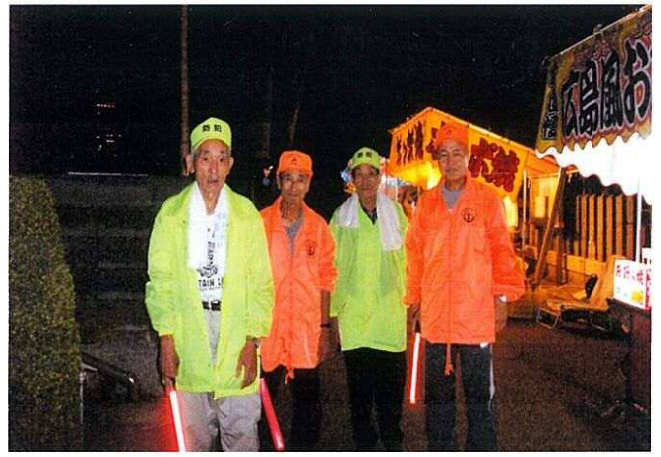
DVD映像による防火研修



消防署職員からの防火のお話



夜間防犯パトロール毎週水曜日実施



神社のお祭り防犯パトロール



朝の通学路児童見守りセーフティスタッフ



健康お茶の間サロンの開催毎月第二水曜日



振り込め詐欺防止訪問活動



セーフティスタッフの安心安全見守り



交差点での見守りセーフティスタッフ

江南区 亀田東小学校区コミュニティ協議会

活動名：ふれあい茶話会

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域内の高齢者率が高まるにつれ、独居老人が増加している。また、全国的に高齢者の交通事故が問題となっていることに注視した。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

普段、あまり外出しない高齢者などを対象に地域交流の場を設定。併せて高齢者の交通安全意識を高める。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

高齢者が気軽に立ち寄ることができる場として「ふれあい茶話会」を開催。併せて警官を講師として「高齢者の自転車事故防止について」と題した交通講話を実施した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

江南警察署

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

約 150 人の高齢者が参加。普段あまり外出しない人などが大勢集まり、交流が深まった。また、交通講話を通じ、交通事故防止の意識が高まった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

普段あまり外出しない高齢者を対象としたことから、自発的な参加があまり期待できなかったため、個別に参加を促した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

H27 年 9 月より、毎月第 2・第 4 水曜に「お茶の間しののめ」を亀田地区コミュニティセンターで開催。開催に合わせ、健康教室などを適宜実施する予定。



江南区 横越コミュニティ協議会

活動名：そばねって、いっしょうそばに寄り添って

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

未婚者の増加, 少子高齢化の進展

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

「そば打ち」を通じて独身男女の出会いの機会を作り、地域の活性化、少子化に歯止め。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

横越農村環境改善センターでそば打ちと試食、北方文化博物館の見学をとおし交際開始のきっかけを作る。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

(財) 北方文化博物館

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

4組が交際に発展した。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

イベントのPRや内容

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

イベントを継続して目標達成につなげたい。



江南区 横越コミュニティ協議会

活動名：嫁入り船復活プロジェクト

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

環境保全と地域の魅力発信

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

地域の魅力発信

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

嫁入り船で小阿賀野川を下り、北方文化博物館で婚礼を挙げる。往時の農村文化や郷土の歴史を再現する。撮影ロケーションも良く、絶好の被写体となるのでフィルムメーカーとの共催で写真コンテストを実施。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

(財)北方文化博物館, アークベル, 新潟フジカラー, 横越漁業組合, 小阿未来の会他

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

多数の見物客と新聞紙上への掲載, 多数の写真コンテストへの応募

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

イベントのPRや内容

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

イベントを継続して目標達成につなげたい。



南区 鷺巻地区コミュニティ協議会

活動名：桜・灯ろう祭り

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

平成26年春に桜遊歩道公園が整備されたことに伴い、竣工記念をかねて観桜客や地域の方から広く憩いの場として利用していただくために、大人も子どもも楽しめる祭りで地域の活性化を図り、公園内の環境美化活動にも力を注いでいくことがきっかけです。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

環境エコ活動として、桜・灯ろう祭りに参加する子どもたちからキャップのついたペットボトルの空き容器を持参してもらい、そのペットボトルを利用して手作り灯ろうをつくり、灯ろう流しをおこないました。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

ポスター、チラシ、看板などで周知を行いました。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

大通コミュニティ協議会

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

桜の開花時期に多くの観桜客が訪れ、桜・灯ろうまつりを楽しみにしている方が増えました。また日常の散歩やジョギングをする人、魚釣りをする人なども増え、地域交流の場として活性化しています。また、地域の人がゴミ拾いや、草刈りなどをし、公園内をきれいにしようという環境美化意識が向上しています。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

毎年桜の満開時期、天気、気温が読めないため、祭り開催日のコンディションの状況判断に苦労しました。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

桜・灯ろう祭りのイベントとして小学生、中学生の活動発表の場を提供できるように、早めに学校への周知体制を整え、学校との連携協力をお願いしていきたい。



南区 味方地区コミュニティ協議会

活動名：大風文化伝承事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

味方地区の伝統文化である大風合戦において、高齢化の進行などにより、伝統文化継承のため、後継者育成が必要になっている。そのため、未来の担い手となる子供たちへ伝統文化継承の必要性、地域を大切にすることの重要性を教える必要があった。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

味方小学校 40 周年記念に絡め、子供たちが大風各組から各工程の指導を受け大風を作成し、白根大風合戦で 40 周年記念風を揚げることにより、伝統文化継承の必要性、地域を大切にすることの重要性を学ぶ。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

5 月 11 日～6 月 1 日 各大風組から大風の製作指導、子供たちによる記念大風の作成
6 月 5 日～9 日 記念大風を白根大風合戦で上げた
7 月 18 日 事業報告チラシを全戸配布

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

味方側大風の各組

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

伝統行事に関わり、地域を誇りに思う心、地域を大切にすることを育むことができた。
また大人たちとともに風作成、風上げに関わるにより、地域に協力していることを認識させることができ、子どもたちの地域づくりに対する心を育むことができた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

大風作り工程の子どもたちへの指導。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

今後も子供たちへ大風製作指導等を継続していきたい。また、小学生だけでなく中学生への指導も必要と思う。



西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：トラック事故防止の交通安全教室

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

子供は身体が小さくトラックの死角になりやすい面を有しており、痛ましい事故も発生している。また、本年度、西区に於いて高齢者が大型車の左折巻き込み事故にあった。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 子供やお年寄りを大型トラックの運転席に乗せ運転者の死角を確認させる。
2. 事故被害の大きさを認識させる。
3. 交差点の危険性を学び、安全に関する意識を高める。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

坂井東小学校及び新通小学校のそれぞれの学校に於いて、9トンの大型トラックでの死角、交差点での巻き込み事故の怖さを認識してもらった。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 児童の登下校時における事故防止の心構えが出来た。（特に大型車への認識）
2. 参加した地域の高齢者に貴重な体験を教えることができた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. 参加者全員から運転席を体験してもらうようにした。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

時間が経つと安全意識が薄れないように毎年継続で行いたい。



西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：地域の安心安全・命を守ろう推進事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

1. 日常生活の中で車が主流となっていること、また近年高齢化が進み高齢者が事故に巻き込まれることが多くなった。
2. 坂井輪中学校区地域の交通安全推進活動が重要である。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 地域住民の安全・命を守るため推進会議を行う。
2. オリジナルの「交通安全のぼり旗」を作成し、各自治会に配布する。
3. 街頭指導で交通安全を呼びかける。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 事業展開のため、交通安全推進会議を年5回実施した。
2. オリジナルの「交通安全のぼり旗」を150本作成し、各自治会に配布した。
3. 「交通安全のぼり旗」を持って交通安全の呼びかけを行った。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

坂井東小学校、新通小学校、坂井輪中学校

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

1. 「交通安全のぼり旗」を目印に、地域の方々はじめ学童たちに注意喚起ができた。
2. ボランティア及び各自治会の協力を得、街頭立哨を行ったことで学童たちの登下校時のマナーが良くなった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. ボランティア及び各自治会からの街頭立哨の参加・協力を得ること。
2. 「交通安全のぼり旗」の設置場所に関する住民からの協力を得ること。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

交通量の多い道路を有する自治会を重点に交通事故防止活動を行う。



西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：親子の居場所事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

1. 子供の数が減少する現社会において、子育てが課題となっている。
2. 地域の大人が、様々な立場で話し合い共に力を合わせ地域の子育てを醸成する。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

1. 地域に於ける、親子の安心・安全な居場所を作る。
2. 保護者世代に地域の担い手となってもらう意識を持ってもらう。
3. 地域の子供を地域で育てる。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. まちづくりセンターオープン記念事業に「カプラで遊ぼう」を実施。
2. 「坂井輪プレーパーク 7」を開催。
3. 小学校5・6年生に居場所についてアンケート実施。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

坂井輪中学生ボランティア

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

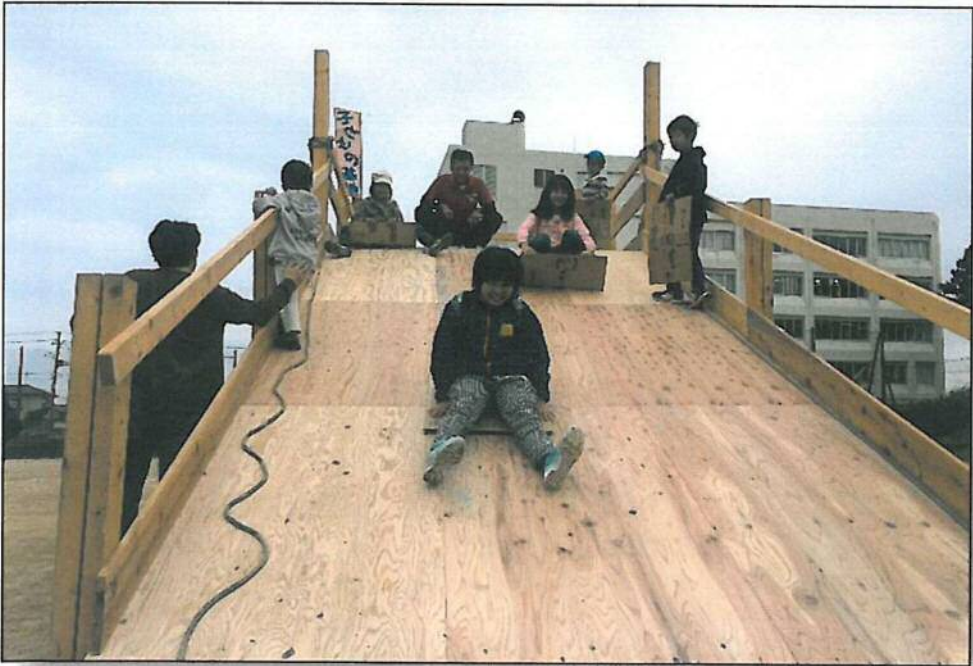
1. 子供の遊び場を作ることによって、子供たちが工夫し遊ぶことができた。
2. 子供たちが体を動かして遊び、トラブルがあっても自分たち仲間で解決すようになった。また、中学生がボランティアとして参加したことも成果があった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

アンケート調査を行い子育て支援に関する現状把握に努める。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

アンケート結果を検証し次年度以降の活動に繋げる。



西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：広報紙「さかい輪」発行

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

会員（構成団体）及び地域住民にコミュニティ活動の理解と協力を得るため

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

広報誌の発行を増やす。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 「かわら版 さかい輪」を5回発行した。
2. 広報誌「さかい輪」1回発行した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

活動内容や情報の提供によって理解度が高まってきたこと、事業への参加者が増えたこと。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

資料の提供及び回収に苦労したが、専門部等に呼びかけ協力を得たこと。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

次年度も同様に「かわら版・広報紙」を発行し、活動の理解と参加を呼びかける。

西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：連合自治部広報紙「大道」発行事業

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

当まちづくり協議会での中心的役割を担う自治会長に対し、連合自治部活動の理解と意識啓発すると共に、地域住民に連合自治部の活動内容を周知する。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

地域活動の中心を担う各自治会はじめ地域住民に対し、連合自治部の活動の理解と地域活動への意識啓発を図る。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

連合自治部で行った1年間の活動事業のトピックスを掲載し、地域活性化に努めた。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

西区役所地域課

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

コミュニティ活動についての理解を得られた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

地域課題を判断し、地域のニーズに合ったテーマ選択に苦労した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

次年度以降も連合自治部の1年間のトピックスを掲載し、地域住民の意識高揚を図る。

西区 五十嵐小学校区コミュニティ協議会

活動名：私たちの海岸保安林保全活動

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

海岸に沿って植林された松林も近年急速にマツクイムシ被害が拡大しその美しい松林が立枯れし飛砂・塩害が日常生活へ大きな影響を与えることが心配されている。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

海岸保安林の保全の大切さを理解し私たちが何をすればよいのか、行政、地権者、活動ボランティアと一緒に、地域一体感を醸成し保全活動を進めること。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

1. 行政と協力しコンサルによる五十嵐浜防風林全体の実態調査を実施。
2. コミ協各自治会長と関係者による現地見学と勉強会。
3. 県・市・ボランティア団体とコミ協との合同保安林保全整備の実施。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

海岸保安林保全活動ボランティア3団体

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

今回多くの人々に保安林保全活動の大切さと具体的活動の意識付けができたこと。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. 先人達の、この地を強風による飛砂・塩害など自然災害から暮らしを守るこれまでの努力・成果・必要性が気薄となり今の生活環境が当たり前のように受け止められていること。
2. コミ協各自治会長に地域の垣根を越えた保全活動の大切さと実践活動への理解・協力をお願いしたこと。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

1. 次年度以降も、一人でも多くの方々に参加できる保全活動を計画・実践すること。
2. 自治協議などを通じて「海岸一斉清掃」行事例のように、広域全体活動として定着できるよう提言して行くこと。

西区 五十嵐小学校区コミュニティ協議会

活動名：テーマ「狭あい道路の解消」行政コンサルとの共同研究参画

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域の道路が狭く行き止まりが多くある。災害時の避難路が確保しにくい、また歩行者の安全・安心を十分に確保できないなどの生活基盤が整備されていない。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

現実的に住民や地域で出来ることを考え、解決に向けたイメージを作成し提起すること。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- 1, 行政と協力しコンサルによる街づくり勉強会を立ち上げた。
- 2, 狭隘道路・行き止まり解消向け地域実態を調査した。
- 3, 解決課題に論点を絞り目指す街づくりイメージを検討した。

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

行政より外部コンサルタント派遣を受けた。

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

地域の街並みは、昭和の高度成長期に住宅地として造成され、私道が多く道路が狭く複雑で万一の災害対応や生活道路として機能していないこと。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

暮らしやすい街にするには、地域住民にどの様にイメージを提起できるのか。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- 1, 次年度以降も、課題解決に向けて行政と連携し街づくり部会活動に組み入れる。
- 2, モデル地区を設定しイメージを提案すると共に具体化を検討する。

西区 真砂小学校区コミュニティ協議

活動名：スポーツ部会平成26年度事業計画

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

住民間の触れ合いが少ない中、世代交流と親睦を図るため四種の異なった事業を実施し、所期の目的を達成する。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

校区住民の世代間交流と親睦を図るため四種のスポーツ事業を通じて住民の健康志向と活性化に期待する。

昨年実施したグラウンドゴルフ太極拳に加え、新たに親善ゴルフ大会を計画する。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

I、真砂・松海が丘連合野球リーグ戦及び信金杯創設30周年記念兼日報杯トーナメント大会、

リーグ戦：4月6日～5月25日 信金杯兼日報杯：6月1日～8月3日

II、第2回町内対抗グラウンドゴルフ大会 開催日：10月26日（日）9：00～12：00

秋晴の好天に恵まれ3ラウンドを行った。

III、初心者のための太極拳体験講習会、真砂小学校区内住民 第1回目：H27.2.13

参加者17名 第2回目：H27.3.13 参加者7名

IV、第1回真砂コミ協町内対抗ゴルフ大会 実施日：平成26年10月2日 参加者：7組28名

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

日本太極拳連盟公認指導員 山田 弘氏

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- I 大会参加者は20歳代～40歳代と若い年齢層で、町内の防災、防犯、ECO 事業の中心となり町内活動の中堅として活躍しており、12月に開催される納会等で交流・親睦の実を挙げ、絆を深めている。
- II ゴルフ経験のない男女だれでも参加、プレーできるので、今後の地域融和を図るべく充実したコンペに持って行くようにしたい。芝生の植生が行われた真砂小学校のグラウンド利用も考えたい。
- III バランス感覚と下半身の筋力を鍛え身体全体の血流を良好な状態に保持できる様丁寧なストレッチと太極拳の難しい手足の動きに挑戦した。参加者は少なかったが、指導者によれば、目の届く指導が出来て良かったと言っていた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

第2回町内対抗グラウンドゴルフ大会、開催日：10月26日（日）9：00～12：00



第1回真砂コミ協町内対抗ゴルフ大会 実施日：平成26年10月2日



西区 真砂小学校区コミュニティ協議会

活動名：平成26年度 交通安全・防犯部会事業計画

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

通学路に歩道のない箇所もあり、小さな交差点もあり、朝夕のラッシュ時での事故防止が最大のポイントである。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ・通学時の見守りと立哨による交通事故防止策
- ・夏場での海岸風紀や公園での事故防止などパトロールを重視したい

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- ・小学校通学道路に立ち、学校前まで通学生に同行する。(春秋交通安全週間)
- ・夜の地域街灯の様子見(5月11日、9月21日)
- ・夏場の海岸パトロール(小針浜8月2日、夕日コンサート8月9日)
- ・中央公園の地域、祭りパトロール(8月2日)
- ・青パト活動の申請、許可公布(2台→西小針台3丁目、真砂2丁目一年間実績31回)

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- 1、道路の歩道のない箇所がこの地域に多い。安全誘導に苦慮している。
幸い子供の事故は発生していないが、高齢者事故の発生が増えて来ている。
402号線は歩道区分が白線でしかなく、歩行者、自転車が一緒に危ない。
自転車人身事故防止策を考えなければならない。
- 2、坂道が多く、雨でも雪でも滑りやすい。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

・夏場の海岸パトロール（小針浜 8月2日）



青パト出陣式（真砂小学校）

西区 真砂小学校区コミュニティ協議会

活動名：防災活動事業・生活環境部会26年度計画

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- 1、地域における防災対策の強化が必要。
- 2、保安林造成促進、飛砂対策、除雪対策の継続的な運動の展開。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- 1、コミ協の環境、防災会員の防災に対する認識を高め、今後の地域に於ける防災対策に資すること。
- 2、従来から取り組んでいる「地域環境保全」自主活動の継続。住民の「やる気」と「具体的な動き」を示して、行政と共に生活環境保全活動を継続して行う。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- 1、6/27東日本大震災被災者（福島県富岡町）避難住宅（郡山市富田町視察）、11/4自治会長会で報告会を行った。
- 2、①飛砂防止勉強会：3回／年程度（第6回～第8回）
②ハマニンニク植栽：11月末～3月末までの冬季（積雪のない時期）

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- 1、マスコミ報道の範囲しか知りえなかったが、被災者の仮設住宅視察と被災者の生活の声を聞いて原発事故は地域も社会も破壊し、修復できていないこと等周知した。
- 2、保安林、飛砂対策、除雪とも継続的な運動で行政と共に住民の要望が実現しつつあります。住民が要望を行政側に強く迫る事と同時に「やる気」と「住民側の具体的な動き」を示しながら徐々にではあるが環境整備が進行して来ている。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- 1、新潟にも原発が有るので、しっかり視察時の教訓を生かすように努力すること。又当地で予想される各種の災害対策の強化を進める事。
- 2、引き続き「飛砂防止勉強会」も開催し、未だ「試行錯誤の段階」だと思いますが行政と共に改善に努める。

1、富岡町被災者仮設住宅（郡山市富田町） & 生産物放射能検査センター



2、平成27年3月21日「ハマニンニクの植栽」



西区 真砂小学校区コミュニティ協議会

活動名：まさご体験教室

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域の子どもたちにとっての安心安全な街づくり、健全育成を進める上で、子どもたちと地域の方々とのふれあう機会、関わりが少なくなってきたが、コミュニティ協議会によるこれまでの活動で少しずつ交流の機会は増えてきているが、十分に改善しているとは言えない。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

子どもたちと真砂小学校教職員、地域の方々が共に参加できる事業として、まさご体験教室を行い、共にふれあいお互いを知り合う機会、きっかけの場とする。また継続的なあいさつ運動を通じて更なる交流の進展をはかる。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

5月31日～3月7日（20回実施） まさごわくわくスクールにてあいさつ運動、交流
7月12日 こま回し・はねつき大会 9：30～真砂小学校
10月26日 ふれあい広場「プレイゾーン」 13：30～真砂小学校
11月8日 たこあげ大会 9：30～真砂小学校

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

自治会回覧に加え、NIC 真砂エリア情報スケジュールの裏面に案内を掲載して頂き、地域の方々の参加者の増加傾向がみられる。

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- 1、「こま・はね」「たこあげ」共に昨年度実施した内容であったが、連続参加児童も多く、ゲーム形式を取り入れる事により予想以上に盛況であった。「たこあげ」は学校グラウンドの芝生化により、より好適な環境となった。
- 2、「プレイゾーン」は折り紙ひこうき大会をメインイベントとして、子供たちのみならず、熱心に取り組むお父さんたちの姿が多数みられた。

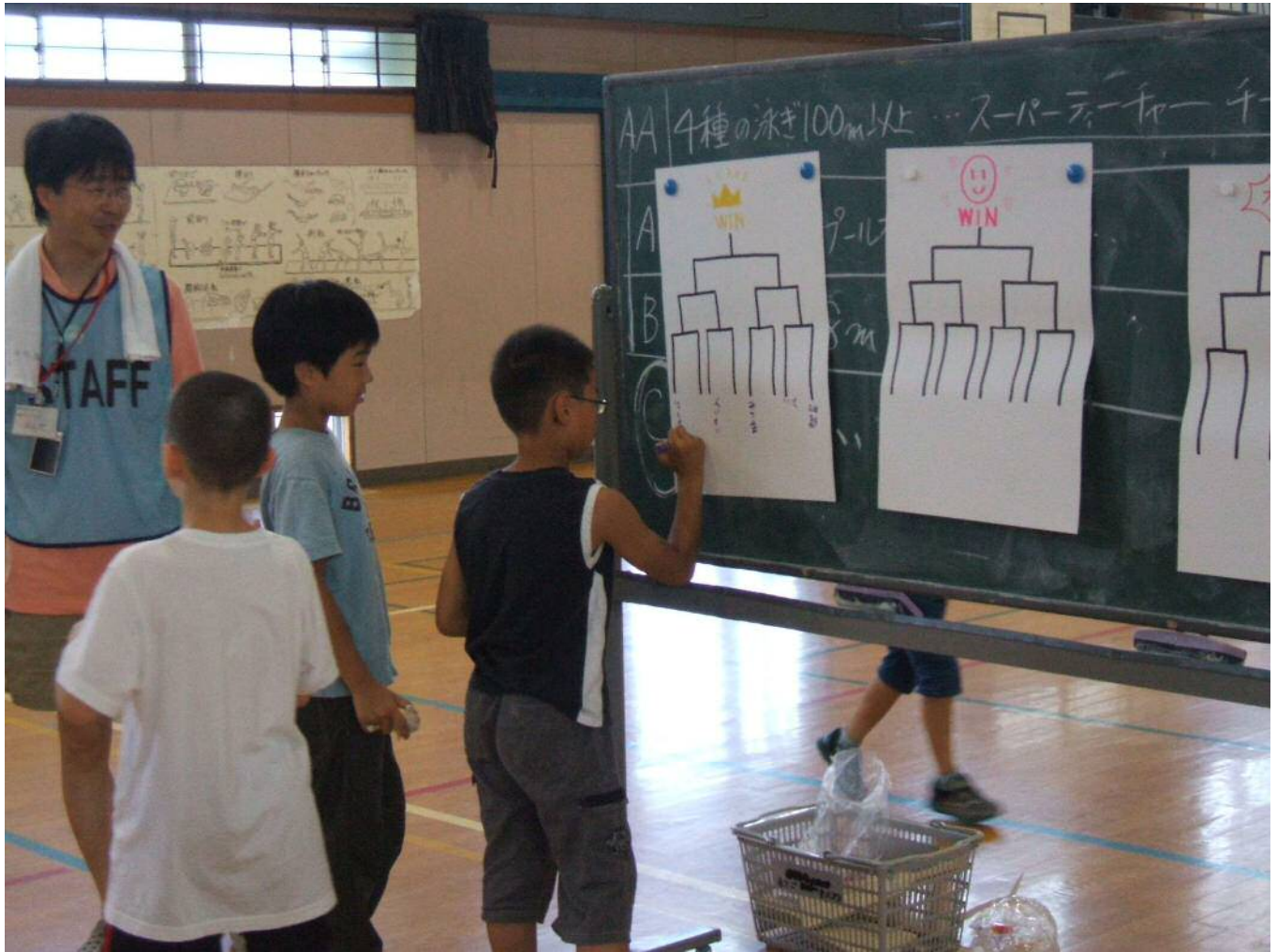
Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ・準備段階で多くの遊具類保管場所の確保が困難であった。
- ・ごみは昨年度に比べ減少したが、さらに減らす努力が必要である。
- ・全行事ともに遊具数を絞ったため、收拾が付かない状況はほとんどなかったが、参加者数をよむことが難しい（事前申込制だが当日参加も受け付けている）。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

「あいさつ運動」のアンケートを3/7「まさごわくわくスクール」で児童を対象に実施した（参加者数50名）。この運動を知っていた児童は4割弱で今後周知程度を挙げていく必要がある。8割が日常的に挨拶をしており、5割以上がこれから挨拶を進んでしていきたいと思っている事が分かった。1割前後の児童が挨拶は苦手なため今後もあまりしたくないと考えており、対策を考えて行く必要がある。

7月12日 こま回し・はねつき大会 9:30~真砂小学校



11月8日 たこあげ大会 9:30~真砂小学校



西区 真砂小学校区コミュニティ協議会

活動名：①世代交流の集い「こどもたちと遊び隊」

②真砂元気塾「うきうき元気に生きましょう」

活 動 内 容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

当コミ協は、西区内では高齢化率の高いコミ協となっている。この為高齢化対策を重点的に行なっていきたい。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ① 古き良き時代の遊びを通じて子供たちとふれあい、日本文化の伝承を図るとともに、高齢者の生き甲斐づくりに資する。
- ② 高齢者の健康講座、又講演を通じた笑いや、男声コーラスグループによる歌声指導等により高齢者の健康増進を図る。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

I 開催までの準備：平成26年5月15日（土）から部会活動を中心に①事業の実施場所の選定②対象者—真砂小学校区内に在住する者で概ね60歳以上の者、及び小学校1年生～4年生までを対象。参加予定者数 80名程度③・ゲーム：お手玉、あやとり、おはじき、メンコ、折り紙、動物将棋、五目並べ等々。・マジック

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

I マジック：新発田あやめマジッククラブ若桑利夫会長。場所：真砂会館

II 講演：新潟お笑い集団 NAMARA 代表江口渉。健康増進講座：区健康福祉課佐藤保健師。

男性コーラス：マンボウズフォー

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

Iマジック及びゲームとも大好評であった。高齢者が子供たちと触れ合う場面を通じて生き生きしている姿が多く見られた。

II NAMARA 代表の講演を通じた笑い、男性コーラスグループによる歌声指導により高齢者の体力・気力の増進を図る事ができ反応も好評であり、所期の目的は達成された。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？



マジック
— 子供参加 —



マジック
— 高齢者と
子供参加 —



マジック
— 高齢者と
子供参加 —

8/20 世代交流の集い
「こどもたちと遊び隊」

<写真> ②



江口さんの講話が
随分です。



楽しい聴き入り
での参加者

9/13 真砂元気塾
「うきうき元気に生きましょう」



高齢者と交流を
しやすく進めては
場内。

西区 真砂小学校区コミュニティ協議会

活動名：平成26年度文化部会事業

活動内容

Q この活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

当コミ協は、西区内では高齢化率の高いコミ協となっている。この為高齢化対策を重点的に行ない、地域内の住民間融和を図り、意志の疎通効果を図る。

Q 課題解決に向けて、どのような目標を立てましたか？

- ① 6回写真教室：例年の様に講師を招いての座学、“地域の宝を探そう”をテーマとした撮影会を講師と共に撮影テクニックを主体として学び、西区（特にコミ協地域）を回って地域の優れたもの（施設、碑文、他）を活写する。
- ② 写真展示：応募者を特に指名して（過去の応募者、教室の出席者）から写真を募る。文化部会員と講師の選んだ作品を真砂小学校文化祭で展示する。
- ③ 文化講演会：地域で（無理なら新潟市内で）これまでとは少し指向を変えた講師を考慮。

Q 目標達成のために、どのような活動を行いましたか？

- 1、平成26年7月6日「第6回写真教室」会場：坂井輪コミュニティセンター、参加者：25名
講師：新潟フジカラーフォト企画課長田中英司氏
- 2、平成26年8月31日「撮影会」会場：坂井輪コミュニティセンター、参加者：28名
講師：地域の写真館「モノクローム新潟」社長 原澤氏
- 3、平成26年10月26日「写真と絵手紙の展示」会場：真砂小学校の教室、観覧者250名
- 4、平成27年2月8日「文化講演会」会場：坂井輪コミュニティセンター、参加者：82名
講師：新通「護念寺（浄土真宗）」住職細川好円氏

Q 活動の際に、コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

上記既述

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- 1、今回の「写真教室」「撮影会」のセット企画で、
 - ①過去5年間継続してきた写真教室の指導をより効果的に習得できるチャンスにし、マンネリ化しつつある気運からの脱却を図ったこと。
 - ②それぞれの参加者に合ったアドバイスを直接お願いし、より早く撮影技術のレベルUPが図れたこと。
- 2、“地域の宝を探そう”のテーマ撮影会は時期、講師選択等都合・間合いが取れず「花」と言う静物撮影研修会で終わった。予めの準備を充分に行ってからの課題としたい。
- 3、写真展示会は真砂小学校の文化祭に合わせて行っている。もう少し小学生や地域の方々がもっと多く見て貰える様工夫しなければならない。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

3 平成26年10月26日真砂小学校文化祭協賛「写真&絵手紙展示」



4、平成27年2月8日「文化講演会」

